

授業科目名	高齢者ケアリング学特論
科目番号	OATHF37
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 水7
担当教員	橋爪 祐美
授業概要	高齢者と家族を対象にした効果的なヒューマン・ケアリングを探求するために、ビギナーレベルでの質的研究の理論と実際を学ぶ。 授業の都度、全6回に渡ってレポート課題を課す。授業はレポート課題のプレゼンテーションを踏まえて進める。
備考	バイリンガル 対面(オンライン併用型) 一部、事前録画した授業を行う。
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	知の活用力、社会行動科学応用
授業の到達目標(学修成果)	(1) 高齢者ケアリング学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。 (2) 高齢者ケアリング学に関わる研究手法を概観後、質的研究法のグラウンデット・セオリー法について、初心者のレベルとしてインタビューやデータ分析までを手掛けることができる。
授業計画	<p>第1回(4月19日、7時限) 橋爪祐美 高齢者ケアをとりまく課題、高齢者ケアリング学に関わる研究方法、質的研究方法概説</p> <p>第2回(4月19日、7時限) 橋爪祐美 グラウンデット・セオリー法1、インタビューのテーマ・対象・インタビュー項目検討、レポート作成①</p> <p>第3回(4月26日、7時限) 橋爪祐美 グラウンデット・セオリー法2、半構造化面接法・インタビューの練習(ZOOM)とインタビュー項目の再検討、レポート作成②</p> <p>第4回(4月26日、7時限) 橋爪祐美 グラウンデット・セオリー法2、半構造化面接法・インタビューの練習(ZOOM)とインタビュー項目の再検討、レポート作成②</p> <p>第5回(5月17日、7時限) 橋爪祐美 グラウンデット・セオリー法3、半構造化面接法・インタビューの実施と逐語録作成、継続的比較分析法、レポート作成③</p> <p>第6回(5月24日、7時限) 橋爪祐美 グラウンデット・セオリー法3、半構造化面接法・インタビューの実施と逐語録作成、継続的比較分析法、レポート作成③</p> <p>第7回 5月31日、7時限) 橋爪祐美</p>

<p>授業計画</p>	<p>グラウンデッド・セオリーの実際1：コーディング1（データのスライスとオープン・コーディング）、レポート作成④</p> <p>第8回（6月7日、7時限）橋爪祐美 グラウンデッド・セオリーの実際1：コーディング1（データのスライスとオープン・コーディング）、レポート作成④</p> <p>第9回（6月14日、7時限）橋爪祐美 グラウンデッド・セオリーの実際2：コーディング2-3（軸足コーディング：パラダイムモデル、選択コーディング：コアカテゴリー抽出、理論的飽和、ストーリーライン）、レポート作成⑤</p> <p>第10回（6月21日、7時限）橋爪祐美 グラウンデッド・セオリーの実際2：コーディング2-3（軸足コーディング：パラダイムモデル、選択コーディング：コアカテゴリー抽出、理論的飽和、ストーリーライン）、レポート作成⑤</p> <p>7割以上の出席を単位取得要件とする。</p>
<p>履修条件</p>	<p>正規生に限る</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>到達目標であげた2つの項目に着目し、授業内での発言・発表(70%)、プロジェクトに関する全6回のレポート提出30%[5回：クラス後のレポートと、最終レポート（テーマ：講義から学んだこと）]を通して、達成度による成績評価をする。評価基準（A+, A, B, C又はD）</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>講義(40%)、講義内容に基づく演習(60%)を取り入れる。授業範囲を予習し、授業後各自プロジェクトを課すので取り組むこと。定められた期限までにプロジェクトのレポートを提出すること。</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. バーンズ・グローブ、Burns, N. & Grove, S K., 「看護研究入門」エルゼビア・ジャパン(2007)、The practice of Nursing Research. Saunders. 5th edition. 2004 2. 南裕子監訳、操華子・森岡崇・志自岐康子・竹崎久美子訳、「質的研究の基礎」医学書院(1999) 3. Strauss, S. & Corbin, J., Basics of Qualitative Research: Grounded Theory Procedures and Techniques. Sage Publications. 1999 4. 橋爪祐美, 高齢者ケアリング学研究会誌Vol.2, No.1, 2011:初心者のための質的研究ナビゲーション(連載)Journal of Gerontological Nursing and Caring Research Vol. 2, No.1, 2011 5. Yumi Hashizume, Releasing from the oppression: caregiving for the elderly parents of Japanese working women. Qualitative Health Research, 20, 830-844, 2010, DOI: 10.1177/1049732310362399 6. 橋爪祐美, 働く女性の介護生活、風間書房2005年 <p>7割以上の出席を単位取得要件とする。</p>
<p>オフィスアワー等（連</p>	<p>随時、下記メールアドレスに事前連絡の上、日時を設定する。</p>

絡先含む)	橋爪祐美 hashizume.yumi.gu@u.tsukuba.ac.jp hashizume.yumi.gu@u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	<p>受講上の注意点：受講希望者はTWINS登録する前に『必ず』科目責任者（橋爪hashizume.yumi.gu@u.tsukuba.ac.jp）にメールでご一報ください。連絡の際は大学のメールアドレスを使用すること。授業はオンライン（オンデマンド型）と受講生の予定を合わせたオンサイト（ハイブリッド型授業）で計画・実施します。状況によって対面授業も検討します。授業やインタビュー方法の習得に関して、オンライン環境を整えMicrosoft teamsおよびZOOMアプリをダウンロードして下さい。詳細は後日、授業担当教員から連絡します。</p> <p>積極的な考察、レポートへの表現、ZOOMでのパフォーマンスとディスカッションを期待する。</p>
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	無
キーワード	高齢者， 家族， 専門職， ヒューマン・ケアリング， 研究倫理， 質的記述的研究法